

生徒指導だより

福井県立福井特別支援学校
第2号 令和5年12月

生徒指導に関わるお知らせを御案内します。御家庭と協力して、児童生徒の学びを支援したり、安全を守ったりしたいと思います。よろしくお願いいたします。

避難訓練を実施しました！

今年度は、5月に第1回、10月に第2回の避難訓練を実施しました。今年度は、**震度6強**という大きな地震を想定し、訓練を行いました。震度6強となると、窓ガラスが割れたり、天井が崩れたりなどで、通行不能な場所や待機不可能な場所が出てきます。**その情報をよく聞き、安全に避難する訓練**を行い、今回は初めてグラウンドへの避難を行いました（写真1）。



写真1

地震発生時や余震が発生した際に、**自分たちの頭や身体を守る訓練**も行いました。昨年度に引き続き、事前学習で自分の身の守り方や一人で行動していた時に災害が起こった場合の対処法などを学習し、訓練時には、近くにある本やクッション等で頭を守ったり、防災頭巾を被ることで守ったりなど、**それぞれが考えて行動**しました。いつなにか災害が起きるかわかりません。自分で避難行動がとれるようになるといいですね。



写真2

消火訓練や煙霧体験も行いました。煙の特性や怖さを体験し、「まったく前が見えなかった」「これが本当の煙だったら呼吸ができない」などの感想もあり、姿勢を低くしたりハンカチで口を押さえる必要性を実感していました。（写真2）

災害が起きた時のために、災害用かばんに入れて教室に保管してあるものがあります。**季節に応じた着替えや防寒グッズ**があると、もしもの時に安心です。各学期に持ち帰る際に、季節に合わせたものに変更するようご協力よろしくお願いいたします。

不審者対応訓練を実施しました！

6月に不審者対応訓練を行いました。警察の方の協力の下、不審者が学校に侵入してきた際の対応の仕方を学習しました。児童生徒は、不審な人を見かけたら、**自分で対応せず、知らないふりもせず、近くの先生に助けを求めたり報告したり**するということを学びました。また、学校のどこかで不審者が侵入してきた際の**合図を覚えて、自分の身を守る行動をとる**ことも実践しました。大人任せではなく、一人一人が考え行動できるといいですね。



写真3

非常食体験への御協力ありがとうございました

今年度は非常食体験を行いました。非常食は、災害時に帰宅不能になり学校で待機する場合や、給食が何らかの影響で急遽提供できなくなった場合に使用します。今回の体験は、児童生徒が非常食を作ったり食べたりする体験を通して、**自分たちの非常食を理解し、より良い非常食にすること**を目的として行いました。体験で出た意見や気づきを掲載します。今後の御参考になさってください。



非常食の袋の中に道具が入っていたから、安心だったな

お菓子はおいしかったけど
ご飯類が入っていないと
寂しかったな



食べ慣れなくて、嫌だったな

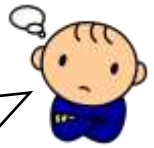


大きいペットボトルだと飲み
きれない時に保存が心配



おいしかった。でも、この量で
足りるかな。もっと食べたいな

水で作ると、時間がかかるんだ
な。レンジを使う必要があるもの
は食べられないかもな。



→成長に応じた食事を準備する

→1日分の食事として3食の組み合わせ（ご飯ばかり、お菓子ばかりにならないように）を考える

→季節によっては保存が難しいので、水は、小さい物を数本、準備するようにしてもよい など

スマホやタブレットの使い方に注意

オンラインゲームでは、課金トラブルや、アカウントを乗っ取られる、ポイントやアイテムを奪われる、クラウドに保存した写真を盗み見られる等のトラブルが起きています。今回はそういった様々なトラブルに巻き込まれないためのポイントをまとめました。

1. ゲーム内で知らない人と取引をしない

ゲーム内で知り合った人とのアイテムの交換や売買は、特に子どもの場合、その仕組みを理解しておらず、だまされてアイテムを窃取される場合があります。

2. オンラインゲームの詐欺行為に注意

オンラインゲームではチャット機能を使って、悪性サイトに誘導されたり、オンラインゲームのファンサイトが改ざんされ、同じオンラインゲームをしている人がウイルスに感染したりする可能性もあります。



オンラインゲームは、ゲームを継続させるため「レアアイテム」「ガチャ」というようなやめられない仕組みがたくさんあり、子どもたちは簡単にのめり込んでしまいます。たまには、「誰と一緒にやってるの?」「このアイテムってどうしたらもらえるの?」など、話してみることも大事です。

★家庭で学ぶデジタルシティズンシップ★

普段から、デジタル機器との付き合い方を子どもたちと話し合い、保護者の皆さんが一番の理解者であることが大切です。SNSでのトラブルは、子どもたちが誰にも打ち明けられずに、被害が大きくなる傾向があります。だから、何もトラブルに巻き込まれていないときに、家族でデジタル機器についてじっくり話し合い、家族オリジナルの取扱説明書を作り上げておくことが大切です。時間があるときに、ぜひ家族でデジタルシティズンシップについて学んで実践するのもおすすめです。

<参考>・家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ 総務省

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/parent-teacher/digital_citizenship/

・インターネットトラブル事例集 ~2023年版~ 総務省

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/